



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行う**ため、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「**原子力総合シンポジウム2015**」開催のお知らせです。

原子力総合シンポジウム2015開催のご案内
テーマ「原子力の将来の在り方」

東電福島第一原子力発電所の事故により、今なお、多くの方々が避難を余儀なくされており、事故炉の廃止措置に向けた作業が困難な課題の中進められているが、今後長期に亘る継続的な努力を必要としている。このような中、日本学術会議総合工学委員会は、原子力をはじめ他の分野も含め取りまとめた「工学システムに対する社会の安全目標」を踏まえ、先端技術を用いた巨大複雑システムの利用が社会に受け入れられるための安全の考え方について考察する。また、日本学術会議提言「研究用原子炉のあり方について」を踏まえ原子力技術の可能性とそれを支える研究施設の在り方、放射線利用のビジョンを紹介するとともに、人材育成について議論する。

日時:2015年7月16日(木) 10:00-17:00

会場:日本学術会議講堂(東京都港区六本木 7-22-34)

主催:日本学術会議総合工学委員会

共催:関連46学協会

プログラム:

10:00-10:10 開会の辞 渡辺美代子 日本学術会議総合工学委員会委員長
10:10-10:20 挨拶 大西 隆 日本学術会議会長

(第1部)—総合工学と原子力安全—

10:20-10:55 「工学システムのリスクと安全目標の考え方」 松岡 猛(宇都宮大学)
10:55-11:30 「化学プラントの安全目標と安全確保の考え方」 中村昌允(東京工業大学)
11:30-12:05 「原子力安全とレジリエンス工学」 関村直人(東京大学)

(第2部)—原子力基礎科学—

13:00-13:35 「原子力学の将来検討」 家 泰弘(東京大学物性研究所)
13:35-14:10 「理工医農学を支える研究用原子炉のあり方」 柴田徳思(日本アイントープ協会)
14:10-14:45 「核科学工学の新展開と人材育成」 藤田玲子(科学技術振興機構)

(第3部)

15:00-16:50 パネル討論 「原子力の人材育成/教育」
ファシリテーター: 上坂 充(東京大学)
パネリスト: 中西友子(原子力委員会、東京大学、日本放射化学会)、川端祐司(京都大学)、
伊藤哲夫(近畿大学)、浜崎 学(日本原子力学会教育委員会)他

16:50-17:00 閉会の辞 上塚 寛 日本原子力学会会長

参加費 無料 (資料希望者には税込1,000円にて頒布予定)

本シンポジウムの取材申込みについて

7月14日(火)までに http://www.aesj.net/activity/conference/symposium2015_registration または Fax03-3581-6128 にてお申し込みください。なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。